

医学分野研究者 16人に助成金

岡山振興会

教育活動に取り組む研究者16人に総額945万円の助成金を贈った。

同会は県内の医学振興のため、2001年に発足。研究者への助成は毎年しており、15回目の今回は50件の応募があった。

岡山医学振興会（理事長・難波正義新見公立大学長）は29日、医学分野の優れた研究や

岡山市北区鹿田町の岡山大鹿田キャンパスで贈呈式があり、難波理事長が表彰状を手渡した。

遺伝子解析による性同一性障害の研究や、解剖学を学べるスマートフォンアプリの開発

難波理事長（手前右）から表彰状を受け取る研究者

百田龍輔、松川昭博、佐藤伸哉、竹内真衣、木下理恵、橘洋美、藤原俊義、上田真史、岩月啓氏（岡山大学院）

江口潤、岡久祐子、井上真一郎、斎藤太一、中司敦子（岡山大病院）

神吉けい太（岡山理科大）

向井知之（川崎医科大）

（長田憲司）



（長田憲司）